

- 令和3年度歳入歳出決算等の概要 ●令和3年度歳入歳出決算総括表 ●決算剰余金処分
- 積立金保有状況 ●年度別歳入歳出決算状況 ●各種証の性別欄削除について
- ジェネリック医薬品差額通知 ●インフルエンザ予防接種補助金 ●健康診断を受診しましょう

令和3年度歳入歳出決算等の概要

被保険者は、年度当初に規模の大きな事業所が脱退したため、第2種、第3種組合員がそれぞれ10%近く減少し、全体では284人減少しました。また、健康保険の適用除外の承認を受けて加入した組合特定被保険者が被保険者の78%を占めており、全国でも組合特定被保険者の加入率の高い国保組合の一つです。組合特定被保険者に対する国庫補助金の補助率は、一般被保険者に比べ低く抑えられているため財政負担が増加する要因ともなっています。

令和3年度歳入歳出決算は、歳入15億4,165万9,039円、歳出12億999万1,540円、歳入歳出差引残高3億3,166万7,499円。保険料改定後、保険給付費が4年続けて減少したこともあり6年間黒字を計上してきましたが、令和3年度は保険料が6,578万円、国庫補助金が2,048万円減収となる中、保険給付費が1,076万円、前期高齢者納付金が3,769万円増加し5,974万円の赤字を計上しました。

また、後期高齢者支援金、前期高齢者納付金及び介護納付金の総額は4億8,963万7,770円で、積立金を除く歳出の41.2%を占めています。被保険者1人当たりの納付額は、平成25年度から後期高齢者支援金は23.1%、介護納付金は33.4%増加しています。団塊の世代が後期高齢者となり始める令和4年度以降は、後期高齢者支援金等の財政負担が増加するものと推計されます。

国庫補助金の補助率は、国保組合の所得水準に応じて平成28年度から5年かけて段階的に引き下げられました。一般被保険者の補助率は、療養給付費、後期高齢者支援金及び介護納付金が32%から14%に引き下げられました。一方、組合特定被保険者の療養給付費の補助率は13%を維持されていますが、後期高齢者支援金及び介護納付金は16.4%から2.7%に引き下げられました。

療養給付費の補助金については、定率補助金しか交付されていないため、被保険者1人当たりの補助金は平成27年度から31.6%減少しています。しかし、後期高齢者支援金、介護納付金については、平成29年度から財政調整のための普通調整補助金が交付されているため、令和3年度の被保険者1人当たりの国庫補助金は、平成27年度から8.3%の減少に止まっています。令和3年度は、後期高齢者支援金補助金の79.3%、介護納付金補助金の76.0%が普通調整補助金となっています。

積立金は、財政悪化に伴う赤字を補填するため、平成23年度から平成26年度までの4年間で3億1,328万円を取り崩し、平成26年度末には3億977万円に減少しました。保険料改定後、令和3年度の2,000万円を含め1億5,000万円積み立てましたので、令和3年度末の積立金は4億6,059万円となっています。



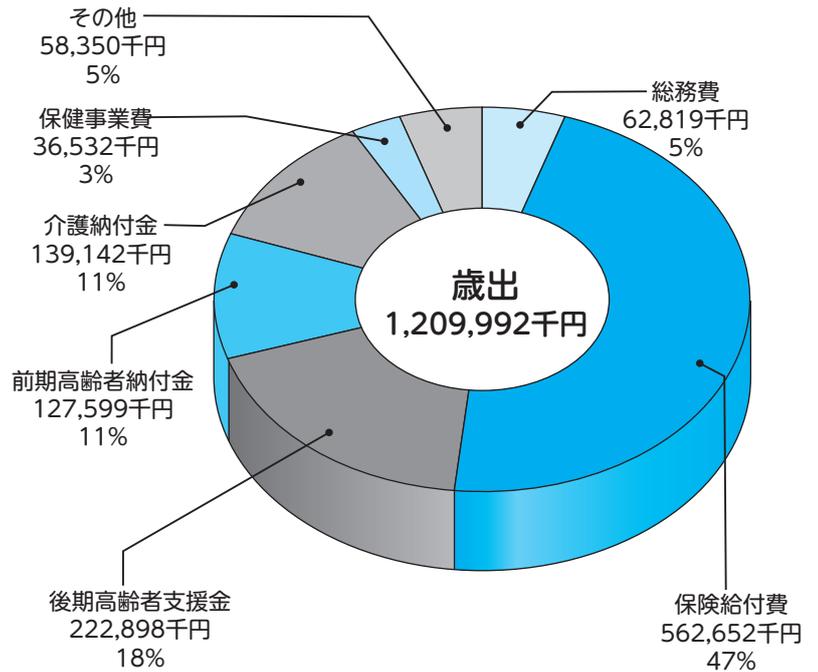
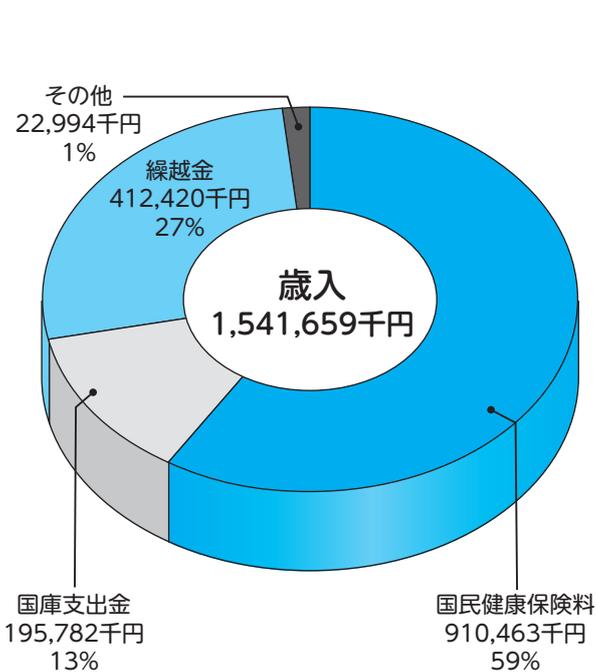
令和3年度歳入歳出決算総括表

【歳入】

【歳出】

(円)

| 款 | 予算現額 | 収入済額 | 予算現額との比較 | 款 | 予算現額 | 支出済額 | 予算現額との比較 |
|-----------------|----------------------|----------------------|--------------------|-------------------|----------------------|----------------------|--------------------|
| 1 国民健康保険料 | 943,979,000 | 910,463,200 | △ 33,515,800 | 1 組 合 会 費 | 1,011,000 | 80,382 | 930,618 |
| 2 使用料及び手数料 | 10,000 | 200 | △ 9,800 | 2 総 務 費 | 84,011,000 | 62,818,676 | 21,192,324 |
| 3 国庫支出金 | 114,197,000 | 195,782,486 | 81,585,486 | 3 保 険 給 付 費 | 663,470,000 | 562,652,385 | 100,817,615 |
| 4 前期高齢者交付金 | 2,000 | 0 | △ 2,000 | 4 後期高齢者支援金等 | 230,020,000 | 222,898,041 | 7,121,959 |
| 5 県 支 出 金 | 1,000 | 0 | △ 1,000 | 5 前期高齢者納付金等 | 135,020,000 | 127,598,318 | 7,421,682 |
| 6 市 支 出 金 | 700,000 | 740,000 | 40,000 | 6 介 護 納 付 金 | 145,000,000 | 139,141,411 | 5,858,589 |
| 7 共 同 事 業 交 付 金 | 10,000,000 | 18,766,000 | 8,766,000 | 7 共 同 事 業 抛 出 金 等 | 24,036,000 | 23,328,000 | 708,000 |
| 8 財 産 収 入 | 17,000 | 9,584 | △ 7,416 | 8 保 健 事 業 費 | 41,748,000 | 36,531,617 | 5,216,383 |
| 9 繰 入 金 | 4,000 | 0 | △ 4,000 | 9 積 立 金 | 21,017,000 | 21,009,584 | 7,416 |
| 10 繰 越 金 | 350,000,000 | 412,420,475 | 62,420,475 | 10 諸 支 出 金 | 33,500,000 | 13,933,126 | 19,566,874 |
| 11 諸 収 入 | 407,000 | 3,477,094 | 3,070,094 | 11 予 備 費 | 40,484,000 | 0 | 40,484,000 |
| 歳 入 合 計 | 1,419,317,000 | 1,541,659,039 | 122,342,039 | 歳 出 合 計 | 1,419,317,000 | 1,209,991,540 | 209,325,460 |



令和3年度歳入歳出決算剰余金処分

(円)

| | |
|-----------------|--------------------|
| 令和3年度歳入決算額 | 1,541,659,039 |
| 令和3年度歳出決算額 | 1,209,991,540 |
| 歳入歳出差引残高 | 331,667,499 |

| | |
|----------|-------------|
| 令和4年度繰越金 | 331,667,499 |
|----------|-------------|

積立金保有状況

(円)

| 積立金の種類 | 令和2年度末現在高 | 期中増減額 | 令和3年度末現在高 |
|----------|--------------------|-------------------|--------------------|
| 特別積立金 | 159,040,802 | 3,158 | 159,043,960 |
| 給付費支払準備金 | 150,377,318 | 2,996 | 150,380,314 |
| 別途積立金 | 131,161,597 | 20,002,701 | 151,164,298 |
| 計 | 440,579,717 | 20,008,855 | 460,588,572 |

年度別歳入歳出決算状況

(千円)

| 項目 | 年度 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 令和3年度 | | |
|-------|----------|-----------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|--------|
| | 平成28年度 | | 前年度比 | | 前年度比 | | 前年度比 | | 前年度比 | | 前年度比 | |
| 歳入 | 国保保険料 | 1,096,682 | 1,063,369 | 97.0% | 1,033,699 | 97.2% | 991,873 | 96.0% | 976,242 | 98.4% | 910,463 | 93.3% |
| | 国庫支出金 | 246,880 | 243,014 | 98.4% | 251,057 | 103.3% | 249,835 | 99.5% | 216,261 | 86.6% | 195,782 | 90.5% |
| | 繰入金 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 | - | 0 | - |
| | 繰越金 | 213,841 | 318,363 | 148.9% | 364,843 | 114.6% | 434,420 | 119.1% | 354,384 | 81.6% | 412,420 | 116.4% |
| | その他 | 28,195 | 16,188 | 57.4% | 24,194 | 149.5% | 32,179 | 133.0% | 18,933 | 58.8% | 22,993 | 121.4% |
| | 計 | 1,585,599 | 1,640,934 | 103.5% | 1,673,793 | 102.0% | 1,708,307 | 102.1% | 1,565,820 | 91.7% | 1,541,659 | 98.5% |
| 歳出 | 組合会費・総務費 | 71,216 | 63,569 | 89.3% | 75,095 | 118.1% | 72,746 | 96.9% | 66,460 | 91.4% | 62,899 | 94.6% |
| | 保険給付費 | 645,648 | 608,183 | 94.2% | 573,347 | 94.3% | 610,806 | 106.5% | 551,890 | 90.4% | 562,652 | 102.0% |
| | 後期高齢者支援金 | 238,890 | 242,536 | 101.5% | 235,770 | 97.2% | 236,113 | 100.1% | 232,551 | 98.5% | 222,898 | 95.8% |
| | 前期高齢者納付金 | 93,652 | 113,845 | 121.6% | 141,685 | 124.5% | 116,526 | 82.2% | 89,904 | 77.2% | 127,598 | 141.9% |
| | 介護納付金 | 129,822 | 137,863 | 106.2% | 137,853 | 100.0% | 143,624 | 104.2% | 143,139 | 99.7% | 139,141 | 97.2% |
| | 保健事業費 | 41,262 | 40,702 | 98.6% | 38,026 | 93.4% | 35,736 | 94.0% | 34,129 | 95.5% | 36,532 | 107.0% |
| | その他 | 46,746 | 44,392 | 95.0% | 37,598 | 84.7% | 138,372 | 368.0% | 35,327 | 25.5% | 58,271 | 164.9% |
| | 計 | 1,267,236 | 1,251,091 | 98.7% | 1,239,373 | 99.1% | 1,353,923 | 109.2% | 1,153,399 | 85.2% | 1,209,992 | 104.9% |
| 歳入－歳出 | 318,363 | 389,843 | 122.5% | 434,420 | 111.4% | 354,384 | 81.6% | 412,420 | 116.4% | 331,667 | 80.4% | |
| 積立金 | 320,271 | 320,376 | 100.0% | 340,470 | 106.3% | 440,536 | 129.4% | 440,580 | 100.0% | 460,589 | 104.5% | |
| 単年度収支 | | 104,522 | 71,481 | | 69,577 | | 21,042 | | 58,084 | | ▲ 59,743 | |
| | 収支率 | 108.2% | 105.7% | | 105.6% | | 101.7% | | 105.0% | | 95.0% | |

各種証の性別欄削除について

国民健康保険法施行規則の改正により、被保険者証にて性別の確認ができる下記の各種証につきましては、令和4年7月発行分より性別欄を削除することとなりました。

【性別欄が削除となる証】

- ① 高齢受給者証 ② 限度額適用認定証 ③ 限度額適用・標準負担額減額認定証
- ④ 特定疾病療養受療証

ジェネリック医薬品差額通知

11月にジェネリック医薬品差額通知を該当する組合員の方にお送りします。この通知は、先発医薬品を使用されている方で、ジェネリック医薬品と300円以上、差がある方を対象としています。

ジェネリック医薬品への切り替えにより、自己負担の軽減や医療保険財政の改善につながりますので、ご理解ご協力をお願いします。

インフルエンザ予防接種補助金

10月から翌年の2月までの間に、組合員本人(75歳未満)がインフルエンザ予防接種を受けた場合、1人につき1,500円の補助金を支給します。ただし、接種金額が1,500円に満たない場合は、実費とします。

申請書はホームページからダウンロードしていただくか、組合までご連絡ください。

申請書に領収書(予防接種の但し書きが必須、写し可、薬局名で発行されたものでも可)を添付の上、3月31日(必着)までに事業所単位で申請してください。

40歳～74歳未満の方へ

健康診断を受診しましょう!

～ストップ!! 重症化～



補助対象期間は、令和5年3月31日受診分までとなります。

例年3月は予約が混み合いますので、早めの受診にご協力をお願いします。

特定健診受診券を利用すれば、

契約健診機関で**人間ドック**や**健康診断**が**かんたん**に受診できます。

① 予約

6月中旬にお送りした受診券をお手元にご用意ください。同封されている冊子「健康診断を受けましょう」または、組合ホームページで健診機関をご確認の上、予約をしてください。その際、神奈川県薬剤師国保に加入していることを伝えてください。

健診受診券を紛失した場合は組合までご連絡ください。

② 受診

予約日当日は、特定健診受診券と保険証、健診機関から指定されたものを持参し、受診してください。

③ 支払

窓口で補助金を差し引いた金額をお支払いください。

[例] 人間ドック 41,040 円 - 補助金 30,000 円 = 自己負担額 11,040 円

※契約外健診機関で人間ドックや一般健診を受診した場合、補助金の申請が必要になります。

詳細は組合までご連絡ください。

※補助は年度内に1回になります。

健康診断補助制度について

| 健診の種類 | 対象年齢 | 補助金額 |
|--|---------|---------|
| ① 特定健診・一般健康診断・人間ドック・PET 健診 (年度内いずれか一つ) (特定健診の項目を含むもの) | 40歳～74歳 | 30,000円 |
| ② 一般健康診断・人間ドック・PET 健診 (年度内いずれか一つ) | 30歳～39歳 | 20,000円 |
| ③ 脳ドック (年度内に1回) (MRI・MRAの両方含むもの) | 40歳～74歳 | 30,000円 |
| | 30歳～39歳 | 20,000円 |
| ④ 婦人科系検査 (年度内に1回) | 20歳～74歳 | 5,000円 |

※補助金額を超えた部分は、自己負担になります。

※上記以外のオプションは、補助の対象外です。

※保険診療による検査は、補助の対象外です。

※対象年齢は、年度内(令和4年4月～5年3月)にその年齢に達する方です。